

# 学校案内



校訓

明るく  
仲よく  
元気よく

## 富山県立しらとり支援学校

### 教育目標

自立と社会参加を目指し、心身ともに健康で、自分らしく人や社会とつながろうとする児童生徒を育成する。

### 学校の特徴

- ・本校は、知的障害のある児童生徒が、障害による種々の困難を改善し、進んで社会に参加することを目指して学んでいる学校です。小学部・中学部・高等部の3学部が設置されています。
- ・学級は、少人数で編制し、きめ細かな指導を行っています。一人一人の実態に応じた個別的教育支援計画及び個別の指導計画を作成し、各学部、関係機関と連携して、将来を見据えた系統立てた指導を行い、児童生徒の可能性を最大限に伸ばすことを目指しています。
- ・将来の生活に役立つように、一人一人の興味・関心や意欲を大切にし、それぞれの能力・適性に応じた指導を行うよう、努めています。
- ・健康な体と体力づくりのために、積極的に運動を取り入れています。障害者スポーツ大会等に参加しています。
- ・将来、地域社会における生活基盤を確立するため、学部や学年の行事を通して、社会的な体験を広めるとともに、近隣の学校との交流及び共同学習や、地域の老人クラブ等との交流を行っています。



しらとり支援学校  
マスコットキャラクター  
「しらとりくん」

# 小学部

日常生活や社会生活における基本的な能力や態度を育成するための学習をしています

## ◆教科別学習

国語や算数、音楽、図画工作、体育を行っています。一人一人の実態や習熟度に合わせてグループを編成して学習することもあります。

## ◆自立活動

児童の現在、将来の自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う学習をしています。健康の保持、心理的な安定、人間関係の形成、環境の把握、身体の動き、コミュニケーションの6区分から個々の児童の心身の障害の状態やねらいに応じた内容を選んで行っています。

個別あるいは小集団による指導を中心にして、学校生活全般を通して指導を行っています。

## ◆日常生活の指導

望ましい生活習慣の形成を目指して、衣服の着脱・排泄・食事・清掃などを学校生活の流れに沿って学習します。家庭と連携しながら年齢や発達段階に応じた指導を行っています。

## ◆遊びの指導

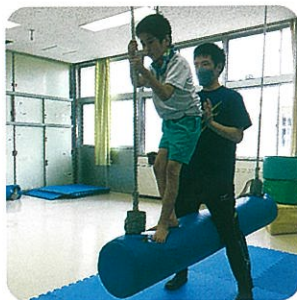
いろいろな遊びを楽しむことを通して、友達との関わりや学習の基礎となる力を育てます。屋外では、アスレチックや砂・水遊びなどを、屋内では、乗り物・ボール・パラシュート・ゲーム遊びなど多様な遊びを取り入れています。

## ◆生活単元学習

生活に密着した目標や課題に沿って学習を展開しています。実際の体験の中から、生活に必要な知識や技能を身に付けていきます。



音楽「かえるのがっしょう」



自立活動 身体の動き  
「揺れ遊具に乗ろう」



遊びの指導「新聞紙で遊ぼう」

## 小学部の時間割（例）

登校指導・学級活動 8:55～9:05

〈1年生〉

|   | 月  | 火  | 水  | 木     | 金  |
|---|----|----|----|-------|----|
| 1 | 日生 |    |    |       |    |
| 2 | 自活 | 自活 | 国語 | 音楽    | 算数 |
| 3 | 音楽 | 図工 | 体育 | 自活    | 体育 |
| 4 | 遊び | 遊び | 日生 | 生単/自活 | 日生 |
| 5 | 特活 | 生単 |    | 遊び    |    |
| 6 | 生単 |    |    |       |    |

〈5年生〉

|   | 月     | 火    | 水     | 木  | 金  |
|---|-------|------|-------|----|----|
| 1 | 日生    |      |       |    |    |
|   | 体育    |      |       |    |    |
| 2 | 算数    | 体育   | 遊び    | 算数 | 音楽 |
| 3 | 音楽    | 自活   | 国語    | 体育 | 国語 |
| 4 | 生単    | 国/自活 | 生単/日生 | 生単 | 自活 |
|   |       |      | 日生    |    |    |
| 5 | 特活    | 生単   |       | 図工 | 生単 |
| 6 | 自活/遊び |      |       |    |    |
|   | 日生    |      |       | 日生 |    |

下校時刻

○1, 2年生

<水・金> 13:25

<月・火・木> 15:20

○3, 4, 5, 6年生

<水> 13:25

<月・火・木・金> 15:20

※自活：自立活動 日生：日常生活の指導 遊び：遊びの指導 生単：生活単元学習

# 中学部

日常生活や社会生活に必要な能力や態度を育成するための学習をしています

## ◆教科別学習

習熟度に合わせて、国語や数学、音楽、美術、保健体育の学習を行っています。

## ◆自立活動

生徒の現在、将来の自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う学習をしています。健康の保持、心理的な安定、人間関係の形成、環境の把握、身体の動き、コミュニケーションの6区分から、個々の生徒の心身の障害の状態やねらいに応じた内容を選んで行っています。

個別あるいは小集団による指導を中心にして、学校生活全般を通して指導を行っています。

## ◆日常生活の指導

中学生としての成長を踏まえ、係活動、清掃、衣服の着脱などを通して望ましい生活習慣や生活に必要な技能や態度を育てます。

## ◆生活単元学習

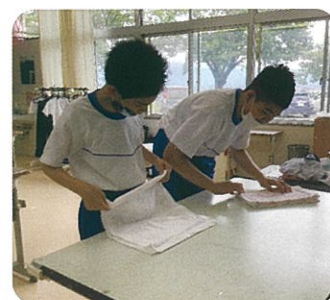
生活上の課題や目標を題材にした学習を積極的に取り入れ、生活力を高めるために必要な知識や技能を身に付けていきます。

## ◆作業学習

作業活動（紙工、木工、縫工、窯業、リサイクル、クラフト）を通して、将来の社会生活に必要な基礎的な知識や技能を身に付け、働く意欲を培います。



国語「身近な漢字」



生活単元学習  
「お手伝いをしよう」



作業学習「紙工班」

## ◆総合的な学習の時間

ボランティア活動、将来の余暇につなげる活動など、様々な活動を行う中で、自ら学び、自ら考える力を育成します。



## 中学部の時間割（例）

登校指導・学級活動 8：55～9：05

〈2年生〉

|   | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  |
|---|----|----|----|----|----|
| 1 | 日保 |    | 生体 |    | 日生 |
| 2 | 特活 | 美術 | 国語 | 数学 | 国語 |
| 3 | 数学 |    | 生単 | 自活 | 生単 |
| 4 | 音楽 | 保体 | 音楽 | 保体 |    |
| 5 | 作業 | 自活 | 作業 | 総合 | 作業 |
| 6 |    | 国語 |    | 生単 |    |

## 下校時刻

＜月～金＞ 15：20

## 部活動

＜火または木＞ 15：20～16：00

※保体：保健体育 総合：総合的な学習の時間  
作業：作業学習

# 高等部

## 産業技術科 生活文化科

卒業後の社会生活を豊かに過ごすために必要なスキルや態度を育成するための学習をしています

### ◆教科別学習

国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、職業、家庭、外国語、情報の各教科について、社会で主体的に活動できる力の育成を目指して、基礎的・基本的な内容を学習します。

### ◆総合的な探究の時間

実生活との関連を図った体験的な学習などを通し、自己の生き方を考えたり、自ら問題を解決したりする力を育成します。

### ◆自立活動

生徒の現在、将来の自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う学習をしています。健康の保持、心理的な安定、人間関係の形成、環境の把握、身体の動き、コミュニケーションの6区分から、個々の生徒の心身の障害の状態やねらいに応じた内容を選んで行っています。

個別あるいは小集団による指導を中心にして、学校生活全般を通して指導を行っています。

### ◆日常生活の指導

身だしなみや清掃、集団活動や仕事への参加などを通して、社会人として望ましい生活習慣や生活に必要な技能や態度を育てます。

### ◆生活単元学習

将来の社会生活に必要な知識や技能、生活上の習慣・態度を身に付けることをねらいとしています。

### ◆作業学習

働く力や生活する力を高め、将来の社会生活につなげることを目標としています。

## <学科>

|      | 産業技術科               | 生活文化科               |
|------|---------------------|---------------------|
| 専門教科 | 農業<br>工業<br>流通・サービス | 家政<br>農業<br>流通・サービス |
| 作業班  | ペーパークラフト            | ハウスワーク              |
|      | 軽作業                 | 手芸                  |
|      | 園芸                  |                     |
|      | クリーンサービス            |                     |

### ■就業体験

校内・校外就業体験を行います。校外就業体験では、福祉事業所や企業で実習を行います。関係機関や地域の方々の協力を得ながら働く力や生活する力を高めていきます。



美術「銅板レリーフ」



総合的な探究の時間  
「外国の方と交流をしよう」

## 高等部時間割（例）

登校指導・HR活動 8:55～9:05  
<2年生>

|   | 月   | 火  | 水  | 木  | 金   |
|---|-----|----|----|----|-----|
| 1 | 保 体 |    |    |    | 数学  |
|   | 自活  | 国語 | 自活 | 国語 |     |
| 2 | 特活  | 作業 | 国語 | 作業 | 外国語 |
| 3 | 社会  |    | 総合 |    | 美術  |
| 4 | 自活  |    |    |    |     |
| 5 | 音楽  | 作業 | 職業 | 作業 | 保体  |
| 6 | 数学  |    | 家庭 |    |     |

### 下校時刻

<月～金> 15:20

### 部活動

<火または木> 15:20～16:00

※総合：総合的な探究の時間



就業体験

(就労継続支援A型事業所)



就業体験

(生活介護事業所)

## 部活動

スポーツ部、レクリエーション部、ダンス部、和太鼓部、パソコン・写真部、美術部の6部があります。週に1回活動しています。



スポーツ部



和太鼓部

## 寄宿舍

集団生活の中で楽しく関わり合い、安全で健康的な生活を送る態度を育てています。

### 【基本的な生活習慣を身に付ける】

規則正しい生活を通して、よりよい生活習慣が身に付けられるようにしています。

### 【友達と協力して生活する】

毎日の話し合いや当番活動により、きまりを守り、協力して生活ができるようにしています。

### 【みんなで楽しく過ごす】

自由時間の中での遊びや行事を通して、楽しい関わりがもてるようにしています。



日常生活「洗濯」



日常生活「掃除機がけ」

## 行事予定

### 1 学期

入学式  
学習参観  
校外学習  
運動発表会  
就業体験（高等部）  
共同宿泊学習（中学部）  
野外活動（小・高等部）

### 2 学期

校外学習  
修学旅行（中・高等部）  
宿泊学習（高等部）  
学習発表会  
学習参観  
就業体験（高等部）

### 3 学期

就業体験（高等部）  
卒業式

## 通学方法

本校の児童生徒は、富山市、中新川郡、滑川市など広域から通っているため、通学バスを運行しています。また、中学部・高等部には、将来の自立と社会参加を目指し、積極的に路線バスなどの公共交通機関を利用して通学している生徒もいます。

## 寄宿舎

遠距離通学及び家庭事情により通学困難な児童生徒のために寄宿舎を設置しています。入舎は、原則小学部4年生以上、舎泊は学校課業日のみとなっています。

## 入学について

小・中学部は県教育委員会の就学通知により、高等部は入学者選抜の結果に基づいて本校への入学が決まります

## 在学中の経費

授業料は必要ありません。学校給食費、交通費、学用品・通学用品購入費、寄宿舎居住経費、修学旅行費、教科書用図書購入費などの経費については、国及び県から就学奨励費として補助されます。

ただし、各支給対象項目には限度額があり、各家庭の実情によって支給されない場合もあります。

## 教育相談・地域支援

お子さんの発達や障害の状況についての相談、就学や進学に関する相談、学校見学など、随時、受け入れています。また、学校見学会、体験入学、小・中学部就学相談、高等部入学者選抜のための教育相談なども行っていますので、お気軽にお問い合わせください。

地域の認定こども園、幼稚園・保育所（園）・小学校・中学校・高等学校に在籍する発達障害等の特別な支援を要するお子さんについて、それぞれの園・所・学校の先生方と一緒に考えたり、必要に応じて支援を行ったりしています。

## 本校の案内図



### 交通案内（バス）

富山駅南口（6番のりば）

◎山田地区センター行

◎国立富山病院行

羽根下車 徒歩5分

## 富山県立しらとり支援学校

〒939-2602 富山県富山市婦中町下邑 2877

TEL 076-469-5531（代表）

TEL 076-469-5492（職員室）

FAX 076-469-5532

E-mail shiratorishien@ed.pref.toyama.jp



2025年4月 発行